



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 2 7 3 回
2 0 2 6 年 2 月 6 日
第 2 6 回 例 会

よいことのために手をとりにあおう

2025～2026年度 R | 会長
マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎②171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎②6665 ☎②6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2025～2026年度 人吉ロータリークラブテーマ それぞれの輝きをひとつに

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱
会長の時間
幹事報告
出席率報告
2026-27年度地区役員委嘱状伝達
外部卓話「ひととは図書館について」
寄付カード

会場 ひまわり亭



会長の時間

会長 塚本哲也

皆さん、こんにちは。ご来訪者の紹介をします。今日卓話をして頂きます、「人吉に新図書館をつくる会」事務局の岡本武憲さまです。宜しくお願ひします。また有馬パスト会長がこの会の会長をされています。今日はお世話して頂きありがとうございます。

2月に入り日差しが暖かくなってきました。明後日8日投開票の衆院選も大詰めを迎えており、既に期日前投票に行かれた方も多と思います。自民党が高市人気で2歩も3歩もリードしているようですが、ここ熊本4区でも金子国交大臣の独走状態と言われているようです。

熊日新聞に最近連載されている「焼酎新時代」という特集があります。昨日は球磨焼酎の海外への輸出について取り上げられていました。堤パスト会長の織月酒造、白岳の高橋酒造とも、アメリカへの輸出に関してはトランプ関税が心配されましたが思ったほどの影響はなかったという事で安心しました。織月酒造は世界15カ国へ輸出されているそうですが、紙面にアメリカ向け輸出銘柄の「ムジェン」のラベルを張っている写真が載っていましたが、ゴルフボールを模ったような丸いガラスの蓋がお洒落な感じで飲んでみたいなと思いました。

それからもう一つお酒の話になりますが、一昨日4日の立春の日は毎年恒例になっている「立春朝搾り」という新酒を取りに朝4時半起きで、熊本市島崎にある熊本県酒造研究所（香露）に行ってきました。出発する際、車の温度計が人吉市内では-2度でしたが肥後トンネルの手前付近は-5度まで下がったのでビビリながら運転して行って来ました。ここは全国でも非常に珍しい研究機関と蔵元を兼ねた酒蔵です。特筆すべき点は、この蔵元で発見・培養された熊本酵母9号（協会9号酵母）は日本酒の発展に最も寄与した酵母で、今の吟醸酒文化の基礎を築きました。漫画やテレビで人気だった「夏子の酒」が流行った20年～30年前の日本酒ブームの際は清酒の全国新酒鑑評会の出

点 鐘 塚本哲也 会長

歌 唱 ソングリーダー 米田幸司 委員

国 歌 「君が代」
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 プログラム 岡本明德 委員長

来訪者紹介

人吉に新図書館をつくる会
事務局 岡本 武憲 様

品酒の約9割が、米は「山田錦」、酵母は「熊本酵母9号」を使用し、通称YK35（35は精米歩合が35%の事で65%を削って35%の米の芯白のみを残す）で醸造されたといわれていた程でした。その酵母を使って造られたお酒を立春の日の未明に搾って瓶詰めし、神主さんをお呼びして滞りなくお祓いをして頂き、そのまま私の車に積み込み当店まで持ち帰ってきます。そうする事で、立春の日に搾った新酒をその日のうちに楽しめるという企画です。もう10年以上続いています。年ごとに予約頂く本数も増え、特にここ2-3年、酒質の向上が目覚ましく私の分が無くなるくらい大好評です。

今日はこの後、人吉ロータリークラブ奨学生の報告、ひとはこ図書館の卓話などをして頂きますのでこの辺りで会長の時間を終わります。

国際ロータリー第2720地区
2026~2027年度地区出向委嘱状伝達

ガバナーエレクト 延岡研一

公共イメージ向上委員会副委員長 石蔵 尚之
 会員増強・維持委員会委員 北 昌二郎
 クラブ管理運営委員会委員長 伊久美 早利
 社会奉仕委員会委員 新堀 純子
 ローターアクト委員会委員 加登住 亮



幹事報告

幹事 春木 顕

理事会報告

- 1 人吉RC奨学生第12期生（期間2026年4月~2027年3月）の書類選考について
 - ・各学校長による推薦 人吉高等学校 4名（うち新規2名） 球磨工業高等学校 1名（新規1名 専攻科）
- 2 地区大会登録料について
 - ・大会欠席者からは負担金として5,000円（登録料10,000円の半額）を徴収する
 - ・家族参加者には4,000円（家族登録料8,000円の半額）を助成する
- 3 こども屋台選手権大会参加者への補助を第6グループの5クラブで行う。各クラブ3万円ずつ拠出し補助。地区の補助が追加された場合は決算後返金もあるかも

案内（回覧）

- 1 地区大会の出欠表に記入をお願いします。
 - 2 ガバナー月信2月号
 - 3 人吉ロータアクトクラブ 2月第1例会案内
 - 2/12 芳野旅館19:00開会 本田ガバナー補佐卓話
- 今後の例会について
 令和8年2月13日 休会
 令和8年2月20日12:30開会 会員5分間スピーチ R友紹介
 令和8年2月27日12:30開会 会員5分間スピーチ
 延岡GE国際協議会報告 心の豊かさプロジェクト演奏会

連絡

今月のロータリーレート154円（前月156円）

会務報告

【人吉RC奨学基金委員会】 委員長 石蔵尚之

人吉RC奨学生第12期生のご紹介

【外部卓話】

人吉市に新図書館をつくる会
 会長 有馬宏昭

皆さんこんにちは。人吉市図書館をつくる会 会長の有馬宏昭と申します。どうぞよろしく申し上げます。

今年の8月2日から10月31日まで、肥後銀行さんに場所をご提供いただき、3か月間「ひとはこ図書館」を実施いたしました。内容につきましては、人吉新聞社さんにしっかりと取り上げていただき、ありがとうございました。

私たちがこの「ひとはこ図書館」を3か月間行い、その実績や内容の企画立案等を進めてまいりましたが、その中で一番ご貢献いただいた方が、ここにいらっしゃる岡本武憲さんです。岡本さんは兵庫県のご出身で、1957年生まれです。滋賀県の教育委員会にお勤めの後、宮崎県に移られ、日南市役所に勤務され、図書館長や生涯学習課長を務められました。

全国の図書館事情にも詳しく、豊富な情報をお持ちです。私も都城図書館を訪れた際、館長のレクチャーを受けましたが、それも岡本さんのご紹介によるものでした。

詳しいことは岡本さんからお話しいただいた方がよろしいかと思っておりますので、ここでバトンタッチさせていただきます。

岡本さん、どうぞよろしく願いいたします。

出席率報告

委員長 内藤靖男

現 会 員 数	52名	出席免除会員数	1名
出席義務会員数	51名	本日の出席率 72.55%	
欠 席 者 数	14名		
出 席 者 数	37名		
免除会員出席数	0名		



ひとつはこ図書館
事務局 岡本 武憲 様



改めまして、皆さんこんにちは。
ただいま過分なご紹介をいただきました。「ひとつはこ図書館」についてご紹介の機会をいただき、ありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。
有馬会長から申し上げました通り、肥後銀行の1階で3か月間図書館を実施いたしました。「こういう居場所を求めている」という声を多くいただきましたので、本日はそのご報告をさせていただきます。

令和2年7月4日熊本県南部豪雨災害



きっかけは、令和2年の熊本県豪雨災害でした。

復興まちづくりが大きな課題となる中で、中心市街地には経済に左右されない拠点、すなわち人が集まり、交流できる場所が必要ではないかと考え、市に対して提案を行ってきました。

「人吉に新図書館をつくる会」は、被災の翌年から有馬会長を中心に立ち上がり、月1回程度の会合を重ねながら、図書館のあり方やまちづくりについて検討を続けてきたものです。

また、令和4年には東校区約4,000世帯を対象にアンケートを実施し、約1,000世帯から回答を得ました。その結果、4人に3人が「図書館を中心とした複合施設が必要」と回答しており、市民のニーズとしても明確に示されました。

しかしながら、市の各種計画では検討段階にとどまり、具体的な整備には至っていない状況です。

こうした背景のもと、「まずはその機能を実際に試してみよう」として取り組まれたのが、「ひとつはこ図書館」です。

ひとつはこ図書館は、肥後銀行1階を会場に、8月2日から10月31日までの約3か月間、毎日開館されました。朝9時から夕方6時まで開かれ、通勤前や買い物の合間など、誰でも気軽に立ち寄ることができる場所として運営されました。また、市から「涼みどころ」としての指定も受けており、地域の中で安心して利用できる場としての役割も担っていました。

会場に本棚を設置しまして、「1箱3,000円」で貸し出すオーナー制度を取入れ、オーナーはそれぞれ、自分の好きな本や人に薦めたい本を並べ、その人らしさが表れる空間が広がっていました。当初50箱の予定でしたが、募集開始から間もなく埋まり、「自分もやりたい」という声が次々に上がり、最終的には約70名が参加する取り組みへと広がりました。並べられた本も入れ替えを繰り返しながら増え、最終的には2,000冊を超える規模となりました。

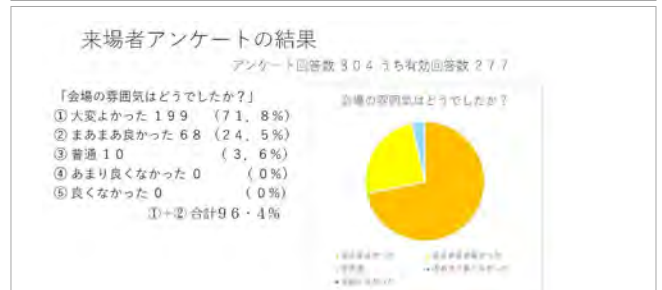
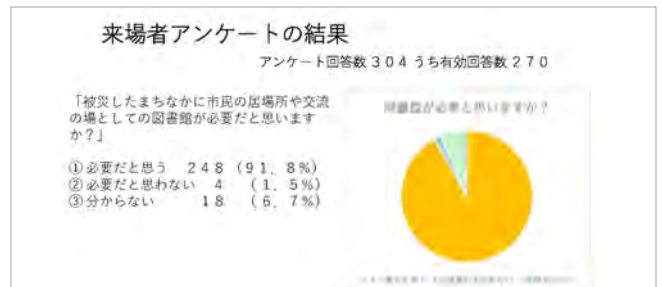
また、本を置くだけでなく、読み聞かせや講座、地域の方による展示など、多様な活動が自然発生的に行われ、期間中には27回のイベントが開催されました。新聞や音楽を取り入れ、おしゃべりもできる空間とすることで、従来の静かな図書館とは異なる、居心地の良い雰囲気がつくられていました。

「こういう場所が欲しかった」という声が多く聞かれたことも、この取り組みの特徴の一つです。

子どもたちの学習コーナーや本の交換コーナーも設けられ、訪れた人がそれぞれの過ごし方で時間を楽しむ姿が見られました。さらに、オーナーが交代で「館長」として運営に関わるなど、多くの市民が主体的に参加する場となっていました。

来場者は約3,800人にのぼり、実際にはそれ以上の多くの人が訪れていたと見られています。

来場者へのアンケートでは、「まちなかに図書館が



必要」と答えた方が91.8%にのぼり、会場の雰囲気についても96%以上が「良かった」と評価しました。

この結果は、単なる施設としての図書館ではなく、「誰もが自由に気軽に訪れ、ゆっくり過ごせる場所」すなわち“居場所”が求められていることを示しています。実際に会場では、これまで顔は知っていても話したことのない人同士が自然に会話を始めるなど、人と人との新たなつながりが生まれる場面が多く見られました。本をきっかけにそこに集まり、同じ興味を持つ人同士が言葉を交わす—そうした光景が日常的に見られていたことが、この取り組みの大きな特徴です。

また、「本があるからこそ入りやすい」という点も重要です。何もない空間では入りづらくても、本を見ると目的があることで、誰もが自然にその場に入ることができ、そこから交流が生まれていきます。

こうしたことから、ひとはこ図書館は人と人がつながる“サードプレイス（第3の居場所）”として機能していたといえ、この取り組みによってその必要性が実際の形として示されました。

図書館というのは、本を読む・借りるだけの場所ではありません。まちづくりであったり、地域の交流であったり、子どもたちの居場所であったりと、いろんな役割を持っている施設だと思います。今回の取り組みやアンケートの結果から見ても、市民の皆さんが求めているのは、単なる施設ではなくて、人が集い、つながり、ゆっくり過ごすことのできる場所なのではないかと感じています。

また、人吉市の財政状況を考えてみても、お金がないのではなく、他市のように、もう少し教育費に予算を振り分けることができれば実現できるのではないかと思います。

そうした思いから、ぜひ子どもたちのために、そして我々市民のために、まちなかに図書館をつくっていきましょう、ということをお願いしたかった次第です。

本日は少し長くなりましたが、お時間をいただきありがとうございました。

【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

- **塚本会長** 岡本様、熱意あふれる卓話ありがとうございました、私も応援させていただきます。
- **浅野会員** 2月1日球磨月例で2回目のエージシュートに一打足らずで逃しました。残念。でも望みが有る事を感じましたのでニコニコします。
- **井手会員** 人吉に新図書館をつくる会 会長有馬会員、事務局長 岡本武憲様、「ひとはこ図書館」のお話、ありがとうございます、私も応援させていただきます。
- **春木幹事** ①岡本武憲様、有馬会員、本日はひとはこ図書館のご紹介をいただきありがとうございました。そろそろ人吉市も図書館の在り方もアップデートしてほしいと思いました。②本日から小4の三男が佐賀市へ水泳の九州大会へ行きました。がんばれ！の意味を込めてニコニコします。

〈R財団〉

- **岩井会員** 岡本様卓話ありがとうございました。石蔵会員には私のわがまま聞いていただきありがとうございました。大変よろこんでいました。

〈人吉RC奨学基金〉

- **石蔵会員** 今日4月からの人吉RC奨学生について理事会承認をいただきました。ありがとうございます。引き続き寄付をよろしくお願い致します。
- **有馬会員** 人吉に新図書館をつくる会事務局の岡本武憲さんによるひとはこ図書館説明の機会を作って頂きありがとうございました。

点 鐘 塚本哲也 会長

